

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 青ヶ迫川 通常砂防事業に伴う測量設計業務

事 業 ・ 工 事 名

調査目的及び調査対象 砂防 砂防

ボーリング名	Bor.No.3	調査位置	No.0 L35.5 左岸側袖部	北 緯	34° 34' 54.7774"
発 注 機 関	広島県西部建設事務所安芸太田支所		調査期間	令和2年 1月27日～ 令和2年 1月28日	
調査業者名	主任技師		現 場 代 理 人	コ ン 定 者	ボーリング責任者
孔 口 標 高	TP 315.79m	角 度	180° 上 90° 下 0°	方 向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°
地 盤 勾 配	40° 鉛 直 90°	使用 機 種	試 錐 機 東邦製 D0-DR型 エ ン ジ ン ヤンマー(株)製 TF-70V-E型		
総 削 孔 長	7.00m	ポ ン プ	東邦製BG-3C型		

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	現 場 土 質 名 (模 様)	現 場 土 質 名	地 盤 材 料 の 工 学 的 分 類	色 相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	孔 内 水 位 / 測 定 月 日	標 準 貫 入 試 験						試 料 採 取		室 内 試 験	削 孔 月 日				
										深 度 - N 値 図		N 値	深 度 (m)	100mm毎の 打撃回数	打撃ごとの 貫入量	50 回の貫入量	自 沈 時 の 貫 入 量			深 度 (m)	試 料 採 取 方 法		
1	315.14	0.65	シルト混じり砂	茶褐				表層土。砂分細～中砂状。		0	10	20	30	40	50	60	1.15	1	2	4			1/27
2	314.34	1.45	礫混じり砂	暗褐	rd2			崖壁堆積物。中砂を主体とし、2～30mm程度の花崗岩亜角礫を混入する。		4	1.45	150	50	1	2	4	2.15	17	33	50	180		
3	311.78	4.00	強風化花崗岩	赤褐灰				土砂状コアを主体とする。全体風化し赤みを帯びるが、部分的に硬質な短棒状コアとなる。GL-2.85m以深の脆弱な部分は強い指圧で粉碎可能。DH級岩盤。		50	2.33	60	60	50	130	3.15	32	18	50	130			
4	309.78	6.00	風化花崗岩	淡褐灰				短棒状コアで採取されるが風化しやや脆くなっている。コア表面は粗く、亀裂間に土砂を挟む。Cl級岩盤。GL-4.5～6.05m。部分的に土砂状コアを呈する。	1/29 4.85	50	4.10	50	50	40	40	4.14	40	5.00	貫入不能	50	0		
5	309.78	6.00	花崗岩	淡褐灰				短棒状コアを主体とするが、コア肌がやや粗い。Cl級岩盤。(一部DH級)		50	6.00	貫入不能	50	0	0	6.00	貫入不能	50	0				
6	308.78	7.00	花崗岩	淡褐灰				短棒状コアを主体とするが、コア肌がやや粗い。Cl級岩盤。		50	7.00	貫入不能	50	0	0	7.00	貫入不能	50	0				1/28